

四国コンテンツ連携推進会議 今後の取組について

四国コンテンツ連携推進会議（H19.3.28 ～ H22.3.31 ～）

1 経過

平成19年3月、四国コンテンツ連携推進会議は、ユビキタスネットワークの進展に併せて地域コンテンツの魅力や可能性に着目し、その利活用を図ることで地域づくり、人づくりを目指す仕組みを検討する異業種連携組織として設立し、この3年間、構成員の皆様のご支援・ご協力を得て、地域コンテンツの生産・流通及び消費というそれぞれのシーンに応じた成果を上げることができました。

当会議の主たる活動期間は平成22年3月末をもって満了となることから、この3年間のこれまでの活動及び成果について構成員の皆様からのアンケート及びヒアリングによりご意見・ご感想をいただくことで総括を行いました。地域コンテンツの利活用については、今後取り組むべき課題が残されていること、当会議の必要性及び継続参加の意思表示をいただき、運営委員会に対して、今後、引き続き継続することを提案し承諾を得ました。

<資料1参照>

2 今後の取組概要

(1) 継続目的

地域コンテンツの利活用による地域づくり、人づくりを目指して、課題解決、そのルールづくりに向けた提案、調査検討などを行います。

(2) 事務局

総務省四国総合通信局情報通信部情報通信振興課

(3) 取組概要

① 地域コンテンツの利活用に向けた仕組みづくり

これまでの生産、流通及び消費フェーズを一貫して継続循環する仕組み、ルールづくりについて提案、調査検討など開催。

② 人材育成

A 創造・知識の向上【四国コンテンツ映像フェスタ／地域コンテンツ制作活用ガイドブック】

B 人と人、メディアとメディアを繋ぐなど、地域において総合的なコンテンツプロデュースを行える人材育成

③ 周知、広報

取組内容の周知、成果物のPR展開及び関係機関への協力要請及び支援要望など実施。

④ 組織活性化に向けた体制の見直し

⑤ その他

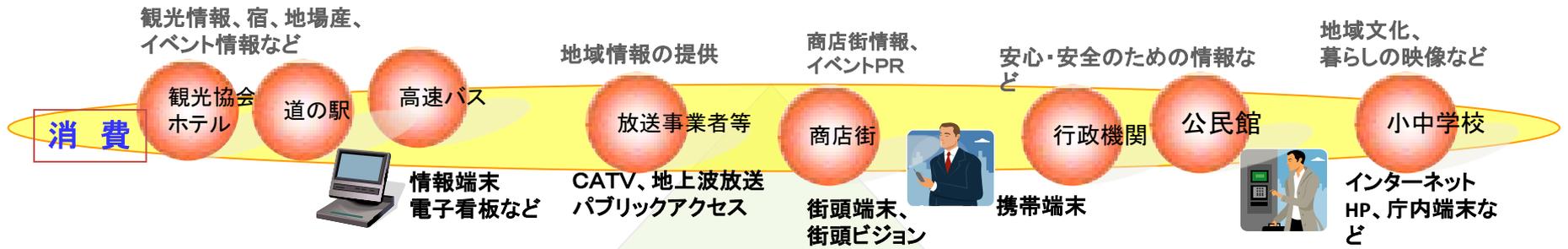
地域コンテンツの魅力と可能性、利活用の促進を図るための取組として講演会、セミナーの開催

<資料2参照>

3 スケジュール

平成22年6月中旬頃	開催要綱改定の提案
平成22年7月初旬頃	組織体制の見直し、提案
平成22年7月下旬頃	調査検討企画、提案

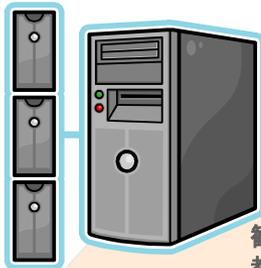
ブロードバンドの利活用を図るとともに、地域づくり、人づくりを目指します



地域活性化、人づくりを目指した地域コンテンツ流通モデルの在り方を検討(21年度)
地域コンテンツの流通モデル化に関する調査検討会

地域コンテンツ利活用のためルールづくり(20~21年度)
地域コンテンツの利活用に関するガイドラインを検討

流通



課題 地域コンテンツの利活用に関する仕組みづくり
成果 地域コンテンツの共用を想定した情報通信メディアへの伝送実験
地域コンテンツ制作活用ガイドブックver.2
地域コンテンツ利活用支援パッケージ(映像の利活用促進)

地域コンテンツサーバ構築(19、20年度)

観光PR等の素材、
教育素材、
地域の番組素材、
地域からの情報発信素材など

課題 地域コンテンツ円滑な流通のための仕組みづくり
成果 地域コンテンツサーバの構築の実証実験

地域コンテンツ制作支援(19年度)

生産



地域文化、風景、イベントなどの
映像、音、写真など

課題 地域コンテンツの生産力向上(映像フェスタ開催)
地域コンテンツ円滑な利活用のための仕組みづくり
成果 地域コンテンツ制作活用ガイドブックver.1
地域コンテンツ制作支援パッケージ(映像研修支援制度)

これまでの取組

「生産フェーズ」

【ガイドブック】

地域コンテンツを制作するためのノウハウから著作権処理方法、円滑な相互利活用のための手続き方法について紹介。

<制作支援パッケージ>

地域の人たち、職場の人たちと一緒に映像制作に取り組む研修会を支援。

<映像フェスタ>

研修の成果発表、誰もが気軽に参加できるコンテストを開催し、地域コンテンツを発信。

「消費フェーズ」

【ガイドブック】

<利活用支援パッケージ>

制作者や利活用者の希望に基づいて相互マッチングを図るなど、地域コンテンツ利活用を支援。

「流通フェーズ」

【ポータルサイト検証】

地域コンテンツの利活用・流通のための仕組み・地域コンテンツサーバーを紹介。

総括

【全般】

- 情報発信願望の高まり
- 利活用には残された課題あり
- 検証組織は必要であり、参画の意思あり

【組織】

- メディア部会(仮称)等の設置検討
- 部会の活性化が必要

【ガイドブック】

<制作支援パッケージ>

- PR不足
- より使いやすい教材づくりが必要
- 充実した地域コンテンツの生産

<利活用支援パッケージ>

- 成功事例の訴求による標準化
- 支援内容の充実

【映像フェスタ】

- PR不足
- 気軽に参加、発表できる場の提供
- 楽しむコンテンツ、見せるコンテンツが必要

【ポータルサイト】

- 誰もが安心して利活用できるサーバーの構築
- ニーズに応じたシステム検証

今後の取組概要

【今後の取組課題】

「地域コンテンツの利活用をとおした地域づくり、人づくり」を目指して

● 創造・知識の向上

【ガイドブック改善更新】

【制作支援・

利活用支援パッケージ活用】 → ガイドライン部会
 【映像フェスタ開催】 → → → → 人材育成部会

● 継続した地域コンテンツ流通の仕組みづくり

【システム検討・検証・提案】 → → (新設案) メディア部会

● 人とメディアを繋ぐ人材育成

【地域コンテンツコーディネーターなど】

<組織検討>

詳細については後日提案